木村奈保子の音のまにまに | 第58号

アーティストの時代への転換期

2021-08-05 ONLINE連載 エッセイ 木村奈保子

ハリウッドの俳優たちが、史上最強の大ストライキを始めている。
しかも俳優たちだけでなく、脚本家たちとも合流した。
俳優たちの労働組合がSAG-AFTRAで、脚本家の組合が、WGAという。
これらの組合が合流するのは60年ぶりで、なんと年末まで続きそうだというから、映画界には激震だ。ちなみに、60年前のSAG会長は、ロナルド・レーガン（のち、アメリカ大統領）だった。
昨今は、配信でも映画を観る時代。
制作会社側（AMPTP）からすれば、選択肢が増えた分、利益が増えるが、脚本家や俳優には、それが反映されないという。
そのなかで、全米監督協会（DGA）は、スト前に交渉が終了しており、今は俳優側を支援する立場だ。
つまり、俳優、脚本、監督vs制作会社（プロデューサー）という構図だ。
搾取する側とされる側の対立は、かくも苦々と行なわれる。

例えば俳優は、自分の顔がスキャンされ、1日分のギャラだけ支払われ、一万制作側は、俳優の肖像権を永久的に獲得し、それもどこにAIで動きをつけるというデジタル時代に突入。俳優たちの権利、人権が失われることが危ぶまれている。
スタントマンから大物俳優へ“ベガー・サランドン”まで、多くの出演者たちが立ちどころに、未来に向けた提言に挑む。驚くべき、妥当な権利を獲得することはできるのか？

ともかく、解決に近づく答えが出るまでは、Wストライキが続くので、映画撮影は中断され、夏恒イベントなどにも俳優たちは参加できない。
制作側がどまるは、莫大な損害を被ることになる。
それでも、俳優たちは今後のキャスティングを下ろかもしれないリスクを恐れず、人権を守るための立ストを敢行している。

性加害者、ワインスタインに立ち向かうMeToo運動しかり、アメリカの俳優たちは、こうして立ち向かい、自分たちの手で権利を獲得している。
そこには、過去に映画界を追いた者から現代に進撮する大物女優までが存在する。
今の自分のためにいよう、未来の若い世代に向けての責務の意味もあるようだ。

日本でも、昨今、性加害の告発が続いたことから、是枝裕和監督を中心にした監督有志の会が、ハラスメント防止について、日本映画制作者連盟に提言書を出した。
実際、映画を受けるのは俳優たちだと思うが、監督たちが代弁し、俳優が中にならないのは、日本的な慎ましさの現れだろうか。
俳優たちは、権利を主張する余裕もないか、事務所との関りがあるのだろう。

成功した大物女優たちが、仕事を干される恐怖で、大なりかなり危険な目にあってきてはいると思うが、男性に嫌われそうな話題を、日本では公に口にする人をあまり見ない。

何もいまさら、そういうことを言う人なのか、など多くの女性にとっては、同じ業界人を相手に被害を告発しても、何もいいことがない、と考える。

個人的には、性加害を許えるだけで、そのイメージが固定してしまうため、ダメリットは少なくないと認識する。
これも、本当に理解できる状態だ。

しかし、悪事を放置すると、次の世代に良いものが残せるのだろうか？
自分さえよければ、先の世界はどうなってもいいのか？

そう思っていたところ、ジャニー氏の性加害問題で、日本の音楽史に名を遺す放部部長一氏のご子息で、俳優の放部吉次郎が友人とともに突男、記者会見場に登場した。
ちなみに長兄の放部部男久氏は、著名な作曲家で、私も何度か映画音楽の仕事でご一緒したことがある。
会見場では、70代後半の上品な老紳士たちが、過去のジャニーから受けた性被害を、語弊しながら語る、その姿が、なんとも素直に感じられた。

彼らは、自分たちに残された短い時間に、真実を語り始めなければと決意したようだ。
未来を見据えて、これからのエンタメを目指す若者に申し被害がないよう、役に立ちたいという気持ちが真摯に伝わった。

二人は、元ジャニーズの告白とは違い、スター誕生やグルーミングがないため、加害者であるジャニー氏の才能を認めることはなく、むしろジャニー流のエンタメが、日本の文化水準を高めるどころか、逆に向かったのではないかと言い放った。
言うべきポイントは、ここだろう。

音楽一言とかかわりを持ったジャニーズが築いたショービジネスの内容に、グローバルなセンスがあったとも思いがたい。

この大規模な権力体制のなかにある性加害事件は、過去の事件をむし上げることではなく、未来の文化レベルを突き可能性を感じさせる。

チャイルド・マレスターによる長期のハラスメント行為は、犯罪であり、許されない。
それによって、音楽文化の向上を妨げたのではないかとさえ私は思う。

日本には、音楽界や映画界よりも芸能界のパワーが強い。
それで日本の文化レベルが、世界に通用しているのか、いま考えなおすチャンスだ。

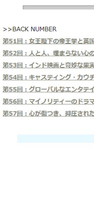
日本の芸能事務所が、かつてしてチャイルド・カルチャーを量産してきたが、この過去を振り返るムーブメントが、芸能人からアーティストへの時代を築くきっかけになればいいと思う。
われわれの世代が振り返り、後世のためにできることを考えなくてはならないと思う。

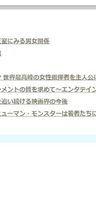
ＮＡＨＯＫ Information

木村奈保子さんがプロデュースする“NAHOK”は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「遠度調整」「重撃吸収」機能の楽器ケースで、世界第一線の演奏家から愛好者まで広く愛用されています。
Made in Japan / Fabric from Germany
問合せ＆詳細はNAHOK公式サイトへ

PRODUCTS

https://nahok.ocnk.net/
↑NAHOKの商品はこちらでチェック！





>>BACK NUMBER
第58回：アーティストの時代への転換期
第57回：心が傷つき、辞任されたヒューマン・モンスターは罰者たちに共感を生むのか？
第56回：マイノリティーのドラマを追い続ける映画界の今後
第55回：グローバルなエンタテインメントの将を求めて～エンタテインメント界の性加害の終焉
第54回：キャスティング・カウチ!? 世界最高峰の女性指揮者を主人公にしたスキャンダルとは？
第53回：イノベーションを起こす女性監督
第52回：「人と人」、埋まらないその溝
第51回：インド映画と日本の距離
第50回：女王殺下の帝王学と英国王室にみる男女関係

＜前の記事

心が傷つき、辞任されたヒューマン・モンスターは罰者たちに共感を生むのか？

PAGE TOP
管楽器・フルート
メーカー・ブランドモデル
ヤマハ | YAMAHA ムラマツ | MURAMATSU
MAGAZINE & NEWS インタビュー レッスン 試奏 選書 楽器情報 フルート奏法
SNSをフォロー
無料会員登録 有料会員登録

特集：
6人のプレイヤーが会話！
演奏を単純に解放する秘訣
クラシックの名曲を
あなたのものに
カバー・ヤーンシュ・パーリント
THE FLUTE 最新194号 THE FLUTE バックナンバー フルート奏法一覧

© 2019-2022 ALSO ONLINE All rights reserved.

THE FLUTE 194
特集：
6人のプレイヤーが会話！
演奏を単純に解放する秘訣
クラシックの名曲を
あなたのものに
カバー・ヤーンシュ・パーリント
ENTRY投稿・応募
>> THE FLUTE アンケート一覧へ
DOWNLOAD 194
こちらから
ブラック・イン...
SOUNDCLOUD
ブラック・インフェクション/...
フルートと通奏低音のための7...
春夜の歌／ストラ
平野歩／フォーレ
レンガ一面風の教会／ドップ...
SPARKLE｜山下達郎
DOWN TOWN｜シュガー・ベイブ
中央フリーウェイ｜荒井由実
愛は天作色｜大滝詠一
悲しみがとまらない｜吉幾
プラスティック・ラブ｜竹内...
異国のドア｜松原みき
ALSOonline
THE FLUTE ONLINE
Privacy policy
関連記事
WEB連載 エンターテインメント・エッセイ 木村奈保子の音のまにまに
写真オリンピックと音楽
女王陛下の帝王学と英国王室にみる男女関係
女性の告発に、なぜ目をつぶるのか
知るべきすべては音楽の中に――楽器を通して自分を表現する
ヒロイックな女たち
新しい生活様式とともに、新たな文化を――！
今話題の人気記事
HOT TOPICS
アーティストの時代への転換期
第18回｜藤田 エスパソ・ブラジル（東京）
フルートコンサートガイド2023年7月
Flie3ユ｜楽器の持ち時 リックスのフルートしぐさ学
第11回｜さがはし矢波さんのラジオに出ました！
心が傷つき、辞任されたヒューマン・モンスターは罰者たちに共感を生むのか？
すべての疑問が解決したフラウト トラヴェルソとの出会い
フルート女、音楽女、より楽しむため に、理論に基づいた自体の使い方を広めたい
コミュニケーションを楽しみ広がら、音楽が好きな人生をともに歩む
目の前のことに向き合い、自然と湧かれるほうへ進んだ結果、今の自分がある。